

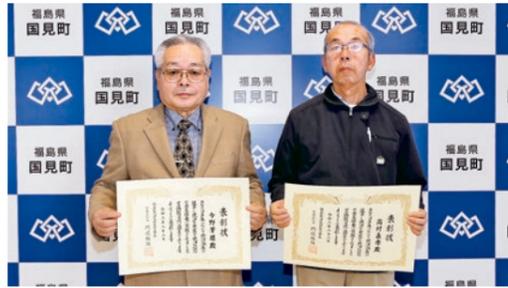


鬼はそと～福はうち～

心の中の鬼を追い払え 保育所・幼稚園で豆まき

藤田保育所とくにみ幼稚園では2月2日、節分の豆まきを行いました。

先生から節分の由来を教えてもらった子どもたちは、手作りの鬼のお面や帽子をかぶり、「鬼はそと～福はうち～」と元気よく豆をまきながら、「いじわる鬼」や「泣き虫鬼」など心の中の悪い鬼を追い払いました。



表彰を受けた今野さん（左）と高村さん（右）

統計の普及発展に貢献 県統計協会名誉会長表彰を2名が受賞

長年にわたり、統計調査員として統計の普及発展に尽力された今野芳雄さんと高村義孝さんが2月2日、福島県統計協会名誉会長表彰を受賞しました。

今野さんと高村さんは、通算して7年間にわたり町統計調査員として、国勢調査や農林業センサスなどの統計事務に尽力されています。



引地町長へ受賞報告する上神田社長（右）

地域活性化に貢献 家守舎桃ノ音がふくしま産業賞を受賞

町内で学びの複合施設「アカリ」を運営する株式会社家守舎桃ノ音の上神田健太社長が2月10日、引地真町長に第6回ふくしま経済・産業・ものづくり賞で特別賞を受賞したことを報告しました。

上神田社長は「みなさんの支援があつての受賞。今後は、より地域活性化に貢献していきたい」と受賞の喜びを語りました。



みんなを笑顔にしたつるし雛たち

色鮮やかなつるし雛が利用者を癒す 国見の里で「つるし雛めぐり」

くにみひなの会（安田節子会長）による「つるし雛めぐり」が2月9日から2月18日までの期間、国見の里で開かれました。会場となった国見の里の玄関エントランスには、色とりどりのつるし雛のほか、和紙人形やミニチュアハウスなど多彩な作品が展示され、入所者やデイサービス利用者の心を癒していました。



引地町長に答申する岩崎会長（右）

「誰もが幸せに暮らせるまち」の実現へ 第6次国見町総合計画に関する答申書提出

町総合計画審議会（岩崎由美子会長）が2月16日に開かれ、第6次町総合計画の原案について適当と認め、同審議会後には、岩崎会長から引地真町長へ答申しました。

同総合計画は「命を大切に 誰もが幸せに暮らせるまち くにみ」を基本理念とし、令和3年度から10年間のまちづくりの指針となります。



佐久間夫妻からあんぽ柿の説明を受ける内堀知事

内堀知事が来町 国見町のあんぽ柿生産現場を視察

内堀雅雄福島県知事が1月15日、国見町を訪れ、県農業賞を受賞した佐久間敏雄さん、久子さん夫妻のあんぽ柿生産現場を視察しました。視察では、佐久間さん夫妻が生産工程の説明や作り手の思いを話したほか、内堀知事は今年のあんぽ柿のできなどについて質問しました。視察には、引地真町長と熊田孝県北地方振興局長が同行しました。



国際平和を訴える子どもたちの作品が並びました

ポスターで平和の尊さを訴える 国見ライオンズクラブ国際平和ポスター展

国見ライオンズクラブ（佐藤忠会長）主催の国際平和ポスター展が1月9日から1月29日までの期間、福島信用金庫国見支店で開かれました。

国見小学校、県北中学校の子どもたちが描いた16作品が展示され、訪れた国見支店利用者は平和の尊さを訴える作品に見入っていました。



深山神社で放水訓練を行う消防団員

町のたからものを火災から守る 『文化財防火デー』消防団が放水訓練

1月26日の『文化財防火デー』に合わせ、国見町消防団（村上信夫団長）は1月31日、町内5か所で消防訓練を行いました。

今回の訓練は、文化財に指定されている建物で火災が発生した場合を想定しての放水訓練でした。団員は、積雪で足元が悪い中でも日ごろの訓練の成果を発揮して機敏な動きを披露し、火災発生時の備えを再確認しました。



練習の成果を披露する子どもたち

和楽器の練習成果を披露 若い芽のコンサート

国見古典鑑賞会（高橋幸子代表）主催の若い芽のコンサートが1月31日、観月台文化センターで開かれました。

コンサートでは和楽器体験教室の子どもたちと指導ボランティアの高校生や大学生などが日頃の練習の成果として箏や三味線で15曲を奏でました。会場では、保護者などが子どもたちによる和楽器の雅な音色に聞き入っていました。



おいしいみそできるかな

日本伝統の発酵食品「みそ」を親子で学ぶ 親子みそ作り体験教室

親子みそ作り体験教室が1月23日と2月6日、観月台文化センターで開かれ、19組の親子が参加しました。

福島市でみそを製造する「南丸滝」の堀切知之さんを講師に、国見産の大豆でみそ作りに挑戦。親子で大豆を袋でつぶし、塩、こうじを加え、しっかりと混ぜ合わせました。作ったみそは発酵を促すため週1回手をかけ、半年ほど育ててできあがります。